

まくべつ

完成間近い糠内消防庁舎

今月の題字は富谷政男さん（軍岡）に書いていただきました

昨年11月から工事を始め、基礎工事を終えていました糠内消防庁舎の新築工事は、この春から工事を再開し、糠内市街の一角に鉄骨コンクリート造り2階建、延484.83平方メートル（146.78坪）の堂々たる姿を、糠内地区の方々の前にあらわしました。

この消防庁舎はポンプ車が2輛収容出来る車庫のほか、大講堂、和室、事務室、湯沸室その他からなり、総工事費は1,800万円となっています。完成は8月中旬の予定。

最後の仕上げに忙しい糠内消防庁舎

主 な 内 容

国勢調査(上)……………	2頁
町民運動会/結核検診……………	3頁
乳牛6,000頭突破記念家畜祭……	4～5頁
カーテンに防災加工/交通安全日……………	6頁
道路交通法の一部改正/ 教職員運転者協会発足……………	7頁
幕別・札内市街公区区分け図……………	8頁

広報

7

1970

No. 229



調査規模では史上最大 10月1日に国勢調査(上)

ます。それとともに、ことしは十年に一回の大規模な調査年にあたっているほか、沖縄においても戦後はじめて本土と一体化して国勢調査を実施するため、今回の調査は、史上最も規模の大きい調査になります。

調査の内容は、八月号の本紙にゆづりますが、全部で二十二項目からなり、今までにない、くわしい内容となります。だがその内容は、税金の申告のように、むつかしいものではなく、字を読める方なら、誰でも記入することが出来、わからない点は、各調査区ごとに配置されている調査員、または、これも八月号でお知らせしますが、国勢調査実施本部事務局で、くわしく教えてくれます。

調査の結果は、雇用、産業、教育、住宅、社会福祉、環境衛生、交通、防災などの対策や、議員の定数決定、財政需要額の算定などに欠くことの出来ない資料として用いられ、しかも個人的な調査事項を統計以外の目的には絶対に使うことが出来ないことになっていますので、町民の皆さんのご協力を、特にお願いいたします。

町民の皆さんもご存知のように、ことし十月一日には、第十一回目の国勢調査が実施されます。国勢調査は全国・都道府県・市町村の人口の大きさや構成を明らかにし、国の政治や行政はもちろん、都道府県や市町村の行政に直接役立つ資料を得るために行なわれます。

ことしの国勢調査の特色は、人口の変化の状況をくわしく調べるため、集計の内容を大巾に拡充し、人口移動に関する統計や通勤、通学に関する統計を充実し、世帯や住宅に関する統計も豊富に作成するところにあり

青少年問題協議会 の新役員きまる

町青少年問題協議会が、去る六月二十九日に開かれ、任期満了にともなう辞令交付式ののち役員改選をおこない、また、今後の青少年健全育成について、いろいろと協議しました。

青少年問題協議会の職務は、独自の立場から青少年健全育成について研究、調査し、町理事者の諮問に答申、または意見を具申する権限もっています。

青少年問題協議会の事務局は、いままで厚生課(現在の民生課)にありましたが、去る四月に青少年係を新設し、企画課内に事務局

辞令の交付式風景



をおき、ただいま青少年健全育成についての大纲を取りまとめられています。

青少年関係で困った問題、その他相談したいことがありましたら、お近くの青少年問題協議会委員、または役場企画課青少年係にご相談ください。青少年問題協議会役員および委員氏名は次の通りです。

▽会長―中島国男
▽副会長―山田栄、中島俊通
▽幹事―林照男

▽委員―帰山茂、吉村康一、上田菊一、高橋一男、大石忠夫、加藤光也、本田茂、小林繁郎、辻田真市、藤平清志、工藤智明、湊良三郎、岡田義範、東信盛、一宮四枝、柴田昌六、六郎田明正、大内憲一、木川拓二、高橋敏夫、大沢昌子、高橋良平、武田衛、本保喜秀。

日甜で従業員を募集

日甜で従業員を募集しています。雇用期間は十月上旬から来年二月末までで、資格は十八歳以上、五十五歳くらいまでの健康な者となっています。希望者は八月二十一日午前八時から午後五時までに、幕別原料事務所までお申し出ください。

要精密検診者は八十九名

全町結核検診

秋にも実施します

去る五月六日から二十八日まで

十九名でした。

の間、一般および児童、生徒を対象に、六月三日から九日まで中学校および保育所児童を対象に、結核検診をおこないました。

幕別町学校保健協議会が設立されました

この結核検診の対象者は九千七百九十名でしたが、受診した方は一般六千九十名、児童、生徒二千八百八十四名の計八千九百七十四名、受診率は九一・七％でした。

なお、なにかの都合で受診できなかった方は、この秋に再度検診をおこないますので、通知がありましたら、忘れずに受診するようにしましょう。

※受診した方のうち精密検診をうけなければならない方は八

学校保健法にもとずき、児童、生徒および職員の健康増進をはかることを目的に、幕別町学校保健協議会が設けられました。協議会では、学校保健に関する調査および研究、研修会などの事業を、目的達成のために開催することに

なっています。役員氏名は次の通りで事務局は事務局長の所属所に置くことになっています。

▽会長—景山倫夫(医師) △副会長—小尾丁二(民生課長)

▽事務局長—杉山孝(教委次長) △會計—安藤哲次郎(幕別小主事)

▽幹事—森野サチ子(保健婦) 大内憲一(歯科医) 勝山衛(薬剤師) 福島茂男(白人中) 笹島登喜生(白人P) 宮沢三枝子(白人養護) △監査—知本正(白人P) 神田仁郎(幕別中)

庭瀬信男(明倫小校長) △事務局長—杉山孝(教委次長) △會計—安藤哲次郎(幕別小主事)

▽幹事—森野サチ子(保健婦)

大内憲一(歯科医) 勝山衛(薬剤師)

福島茂男(白人中) 笹島登喜生(白人P)

宮沢三枝子(白人養護) △監査—知本正(白人P)

神田仁郎(幕別中)

五位の平井ミサさんは、老令年金が支給されるようになったのを記念して、町社会福祉協議会に金三千円を寄付しました。

篤志寄付者のお名前

本町の大串智三さん(電気器具店)から、恵まれないお年寄りに使ってほしい、と、中古の電気洗濯器一台が寄付されました。町ではホームヘルパー用として有効に使わせていただいております。

■札内あかしや団地の佐柳敏雄さんから、札内生活館と札内公民館に、茶わん百個の指定寄付がありました。

■札内あかしや団地の佐柳敏雄さんから、生活館の図書購入の一助にしてほしいと、千四百六十六円が寄付されました。これは生活館運営委員報酬を、そのまま寄付したものです。

保険者とは

保険事業を運営するものごとを保険者といえます。国保の保険者は、わたくしたちの住んでいる幕別町が、それにあたります。この保険者の仕事は、被保険者に保険給付をおこなうこと、保険料を集めること、医療機関にお金を支払うことなどです。

国民健康保険

被保険者とは

被保険者とは、国保に加入している人をいいます。職場の健康保険に加入している人は、国民健康保険に加入していません。

④ 計算します。世帯というのは同じ家に住んでいて、家計がいつしよの者をいい、ふつつは肉身どうしのことになります。ですから、住みこみの店員さんとか、使用人は同じ住居に生活していても、一応家計は別ですから、独立した世帯ということになります。

康保険にはいっていない人と、生活保護を受けていない人は、すべて国保の被保険者でなければなりません。国保では、加入は世帯ごとになります。何人家族であろうと、一家族をひととして計算します。世帯というのは同じ家に住んでいて、家計がいつしよの者をいい、ふつつは肉身どうしのことになります。ですから、住みこみの店員さんとか、使用人は同じ住居に生活していても、一応家計は別ですから、独立した世帯ということになります。

家族全員で町民運動会に参加しよう

恒例の町民運動会が、7月19日(幕別地区)、26日(札内地区)、8月2日(糠内地区)に開かれます。会場は幕小グラウンド、白人中グラウンド、糠内中グラウンドとなっており、種目は次表のように、お年寄りから幼児まで家族全員が参加でき、楽しい一日がすごせるよう決定しました。隣近所おさそいあわせてご参加ください。

幕別地区

時間	種目
9.30	小学生リレー
9.50	中学生リレー
10.10	ふうせんはいずこ
10.30	孫にひかれても
10.50	喜びも悲しみも
11.10	綱引
11.40	今日は楽しいアルバイト
12.00	紅白球入れ
12.20	テープレース
12.40	やじきた道中
13.00	選抜リレー
13.30	百足リレー
14.00	年令別リレー(男)
14.20	年令別リレー(女)

札内地区

時間	種目
9.30	小学生リレー
9.50	中学生リレー
10.10	ふうせんはいずこ
10.30	豊作リレー
10.50	孫にひかれても
11.10	喜びも悲しみも
11.40	綱引
12.00	今日は楽しいアルバイト
12.20	選抜リレー
12.40	紅白球入れ
13.00	家族リレー
13.30	百足リレー
14.00	年令別リレー(男)
14.20	年令別リレー(女)

糠内地区の種目は、近く開かれる会議で決定することになっています。

祭畜家記念突破頭6000乳牛

幕別・札内会場で品評会を開催

町が主催し、幕別および札内農協後援の乳牛六千頭突破記念畜家畜祭品評会が、七月三日に幕別会場札内会場でわかれて開催されました。この日、幕別、札内会場ともに午前七時から八時まで受付と測尺をおこない、同八時三十分から審査をはじめましたが、出陳された牛および馬は、各農家が、家族同様に育てたものだけあって、何れも見事な発育ぶりをみせ、審査評でも「総体的に向上をみせた」と賞讃されました。

褒賞式は午後四時から町民会館で開かれ、町長賞など沢山の賞品が贈られました。入賞家畜の出陳者名は次の通りです。なお、出陳家畜は、牛百四十九頭(幕別九十一頭、札内五十八頭)馬五十頭(幕別三十九頭、札内十一頭)でした。

最高位は第三ルメヒメ号(馬)と

トリスターミドリコンケスト号(牛)



幕別会場

大西三四郎(二点、茂発谷)

妹尾良男(新和)

二等賞

近石義雄・二点、長崎正雄

(駒島)、石川大五(五位)

石川朝則(相川)、棚橋和夫

(相川)妹尾良男、平井繁男

大西三四郎、遠藤信明(大

豊)渡辺秀雄(相川)

三等賞

佐藤忠広(駒島)、長田正

(駒島)、高井正雄(相川)

青木金三(新和)、松浦求

(相川)、平井善見(五位)

大西三四郎、小谷清(新川)

東原武男(明野)、大西信夫

(茂発谷)、佐渡栄松(相川)

山端重隆(相川)

四等賞

長田洋一・二点、近石義雄

(相川)、平井繁男(新川)

■牛の部

最高位賞

トリスターミドリコンケスト

(佐藤徳衛・駒島)

一等賞

砂田行雄(美川)、長崎幹男

(駒島)、田村真一(南勢)

徳野登(中里)、相沢茂晴

(駒島)、加藤利行(明野北)

佐藤孝広(駒島)、佐藤熙行

(二点・軍岡)、佐藤徳恵・

二点、亀井宏之(明倫一・二

点)、山田昭(駒島)、筒淵

正夫(新和北)、泉一蔵(軍

岡)、高垣久喜(駒島)

二等賞

嵯峨正一(明野北)、前川正

和(明倫一)、山田昭、高木

一義(二点・軍岡)、福家康

板浦保雄(相川)、西原博文

(相川)、徳野登(中里)、

七島栄作(二点・明野)、大

西信夫、西原正光(相川)、

山端重隆・二点

三等賞

長崎幹男(駒島)、山田量

(中糠内)、島田道雄(大豊)

山田孜、徳野登、山田昭、上

田勇(軍岡)、松岡正二・三

点、八太由男(南勢)、杉山

宗市(駒島)、千葉清見(南

勢)、服部悦治(新和北)、

新田登(駒島)、福家左多雄

(新和北)、影山正一(豊岡)

藤岡秀茂(軍岡)、牧野正好

(軍岡)、宮本敬治(五位)

山中隆一(西猿別)、伏見基

(新和北)、齊藤園吉(豊岡)

佐藤登吉(新川)、進藤次郎

(新川)、進藤浜吉(新川)

野瀬光雄(軍岡)

四等賞

福家康芳、妹尾達男(新和北)

藤岡秀茂・二点、井川元一(

豊岡)、一条豊(弘和)、影

山正一・二点、高垣久喜、服

〈次のページへつづく〉

放し飼いの畜犬でも薬殺処分します

七月十五日から九月十五日まで

全町一円で野犬掃とうを実施します

部悦治、国枝昭(中里)、坂下庄三(南勢)、三井忠雄(軍岡)、八太由男・二点、八太六蔵(南勢)、福島栄(南勢)、齊藤園吉、島田道雄、

最高位はニジヤ号(馬)と

ローマンデールプライドシス号(牛)

佐藤勝治(新和北)、杉本久五郎(西蕨内)、遠藤信明(大豊)伊賀ミサオ(新川)、野瀬光雄、園部憲(南勢)

久保英太郎(古舞)、白木常雄(札内)、久保武(古舞南)千賀孝雄(依田)、磯部判治(千住)、大野政吉(依田)白木常雄(札内)、井村和義(大正)、田村徹雄(札内)長瀬弘(依田)

二等賞

四等賞

藤井釘、山口正三(豊岡)

■牛の部

最高位賞

ローマンデールプライドシス(千賀孝雄・依田)

一等賞

久保英太郎、千賀孝雄、野原治夫(依田)、土田俊雄(依田)、佐藤忠幸(札内)、丸山正夫(札内)、尾藤敏夫(依田)、谷友要(日新)、桜井秀雄(途別)



■馬の部

最高位賞

ニジヤ(中村由雄・途別)

一等賞

浅井嘉一(千住・二点)、藤井釘(豊岡)

二等賞

松島由称(札内)、浅井嘉一(千住)、中村由雄(途別)

三等賞

中村由雄、藤井釘

審査評

乳牛の部

出陳されたホルスタイン、ホル系種ともに発育は良く従来みられた背のたるみ、たれ乳が、ほとんどみられず、総体的に向上している。

しかし、体軀が立派になった反面、足の弱いものがみられ、これは飼料の充分な給与と適度の運動によって改善されるので今後とも十分に注意してほしい

また、飼育管理が良くなったため、脂肪のかりすぎが、特

に若い牛に多かった。管理の点で、よく注意してほしい。

馬の部

馬の品評会は、十勝管内八か町村で開かれ、他の町村は二歳の資源がなく開催できなかったことは残念である。幕別の審査を担当して、ほとんどの馬が飼育技術の向上から、各個人の差がなく、審査に苦労した。

種馬は大型化し、個体に関しては欠点はみられなかった。ただ、体重の増加から四肢に難点がみられた。これは飼料の給与と運動によって改善されたい。



町民会館講堂で開かれた褒賞式の模様

畜産功労者を表彰

なお、褒賞式の終了後、畜産の振興に功労のあった次の九名(うち故人五名)の方々を表彰しました。

男(日新)、村上新太郎(千住)、大野政吉(依田)、石田利八(日新)、矢島利勝、桜井秀雄(途別)、遠藤輝雄(日新)

三等賞

山口正三(豊岡)、安彦由郎(日新)、山口正三、佐藤勇(札内)、渡辺勲(依田)、大山義昭、丸山正夫・二点、松田豊三郎、石田利八(日新)、沢田光義(古舞)浦田正敏(依田)、関口長之助(千住)、矢島利勝(札内)二点、関口喜好(千住)沖田武盛(豊岡)、鈴木勇(日新)、佐藤忠幸(札内)山口慶宣(途別)、池崎甚之助(日新)、二瓶長松(豊岡)鈴木数吉(札内)

四等賞

藤内春雄(日新)、松田久男(古舞)、山口慶宣、足立昭

表彰を受ける畜産功労者



一日と十五日は交通安全日です

最も危険な事故馴れ

悲惨さを再認識しよう

毎月一日、十五日は交通安全日となっております。普通の日も勿論ですが、一日、十五日の交通安全日には、一件の交通事故もおこさないよう、十分に注意しましょう

「交通事故」という言葉は、すっかり私たちの日常語となつてしまひ、少しも珍らしくはありません。珍らしくない、ということはおまわりにも事故が多発し、馴れてしまつたためなのです。

その昔、第二次大戦中、激戦でバタバタと倒れた戦友の屍の間ではじめのうちは眠るどころではなかつたのですが、そのうちに馴れてしまひ、平気でまどろむむようになりました。馴れるということはおまわりの正常な神経をマヒさせてしまふのです。

交通指導をする商工青年会員と中学生



このように、馴れるということとは、とても危険なことだ、こゝらで、交通事故の悲惨さを再認識する必要があります。あなたの肉身が事故にあつてから再認識するようでは遅すぎるのです。そこで、交通事故の悲惨さを再認識するとともに、この社会から交通事故を一掃しようという願いから一日と十五日を交通安全日と決めました。町民の皆さんも一日

と十五日が特別な交通安全日であるということを知っておきましょう。

この一日と十五日には、町で委

功労者に感謝状

日新水道の移管式を開催

日新水道移管式が、六月十八日午後一時から幕別温泉ホテルに受益者多数が参加して開かれました。日新水道は昭和三十六年十二月に完成、以来、地区の方々によって運営されてきましたが、給水人口の急増その他から地区住民の

嘱した交通指導員のほか、商工青年会員、幕別中学校生活部員、幕別小中学校の先生方が、街頭で交通指導にあたっています。商工青年会員や中学生の皆さんが、なぜ交通指導をしなければならぬかということ、町民の皆さんは、こゝら辺で、もう一度考えなおしてみたいものです。

みでの運営は困難となり、また、公共的な事業であるところから町に移管するべきである。と去る昭和四十三年四月に移管し、町ではその名称を日新簡易水道とし、施設の整備その他を実施しました。移管式では、永年にわたつて水道の運営に努力されたことにたいし、中島町長から感謝の言葉が贈られたのち、次の方々へ感謝状を贈り、その労をねぎらいました。

カーテンなどに防炎加工を

消防法の改正で義務づけられました

消防法の改正によって、多数の人員を収容する劇場、集会場、料

万全を期してください。くわしいことは消防本部または役場企画課にお聞きください。

- 公会堂、集会所、遊技場、待合、料理店、マーケット、旅館
- ホテル、宿泊所、児童福祉施設
- 身障施設。

早急に防炎加工をし、火災予防に

- 〈建設功労者〉
故・吉野福次、伏屋隆徳、奥田一一。
- 〈運営功労者〉
藤内春雄、桜井伊丸、本田甚作

- 谷友翠、佐々木信雄、足立辰夫
- 〈建設及び運営功労者〉
谷友要

- 〈水源管理功労者〉
筒井昭

- 〈水道布設地協力者〉
楠木圭五郎、乾富雄、伊藤宗利

- 芥田真正、前北正美、中村福二
- 中山弥一郎、安彦由郎、老松勝一。

- 幕別町スケート協会
が設立されました

去る六月二十四日に幕別町スケート協会の設立総会が町民会館で開かれ、次の方々役員に選ばれました。

- ▽会長―齊藤正美 ▽副会長―中島俊通、福田省市、中条秀雄
- ▽理事長―前原祝

- ▽常任理事―清水実、林照男、水野晃夫、前原鑿、金須幸雄、箕島茂、林一夫、稗田孝幸、福西茂男、長屋忠弘、郷孝男、今野久、宮垣敏雄、森野幸作
- ▽理事―上田一栄ほか二十四名
- ▽監事―須田利一、木川静



酒気帯び運転の罰則強化

解

説

8月から適用される 道路交通法の一部改正

第六十三回国会で道路交通法の一部を改正する法律が成立、8月から施行されることになりました。道路交法改正の目的は、国民が安全で快適な生活をおくること出来るようにするために設けられたもので、極端にいいますと、交通事故さえ起らなければ、道路交法なるものは必要はないのです。その交法を更に手直ししなければならぬということは、交戦争が、もはや、ぬきさしにならないところまで、きてしまったということになります。町民の皆さんも、このところを良く考え、交法の一部改正を軽々しくみず、改正された点を、十分に頭の中に入れてください。改正された主な点は次の通りです。

■酒気帯び運転が全面的に禁止され、罰則も強化されました。また、悪質な運転者の免許取消し期間も、三年以下の範囲内で延長され、つれて安全管理者にたいする罰則も引きあげられました。

※酒気帯び運転の全面的禁止は事故を起した者のほとんどが酒気を帯びていたところから実施されたもので、今後は酒が出る席または、会議に出席

町内を走る車は年々増えています、注意しましょう。

するときは、車を絶対に運転していかないようにしましょう。

■交通反則通告制度が、少年にも適用されることになり、反則金を納付しない少年について家庭裁判所でも納付を指示することが出来るようになりました。

※十八歳未満の者にも適用されるという事は、少年の事故や違反がそれだけ多くなったといえるでしょう。子どもの親は、親の責任において良く注意してください。

■歩行者の完全確保、駐停車の規制の励行および、その他の交通指導を行なわせるため交通巡視員

教職員で運転者協会を設立

目的は事故防止と交通道德の推進

自動車運転免許をもっている町内の教職員の方々に「幕別町教職員運転者協会」が設立されました。この協会は、教職員の交通事故を未然に防ぎ、かつ交通道德の推進を目的とし、目的を達成するために、交通法規の学習、車輛の点検整備、運転技術の向上その他を実施することになっています。

会員数は、運転免許をもっている方々ののため百二名ですが、

が、都道府県警察に置かれることになりました。

■今まで、歩道上を自転車で行することは出来ませんでした。今回の改正で、公安委員会が交通の状況により支障がない、と認め指定した区間の歩道を通行することが出来ることになりました。

■児童、幼児等の乗降のため停車している通学通園バスの側方を通過する車は、徐行して安全を確認しなければならぬほか、歩行者保護のための種々の処置がなされています。運転者、歩行者ともに、お互いにゆずりあう気持ちで事故防止に、つとめていただきたいものです。

小中学校の教職員が、自主的に協会を設立したことは、教職員という職業がら、各方面に好影響を与えるものと期待されております。役員氏名は次の通りです。

- ▽会長—安達大元
- ▽副会長—安達功、平山方仁
- ▽事務局長—安藤哲次郎
- ▽会計—郷孝雄
- ▽監査—菅野清正、竹川隆男
- ▽理事—各学校より一名。

ご存知ですか

上手な乗車券の求め方

公用または行楽で旅行される際に、お求めになる乗車券を次のような方法でお求めになると運賃が割引となります。

◎復割乗車券◎
幕別から千二百一十以上の帰りキップは一割五分引きとなります。

◎回数乗車券◎
幕別から千二百一十以上の帰りキップは二割五分引きとなります。以上は何れも一カ月の通用期間があります。

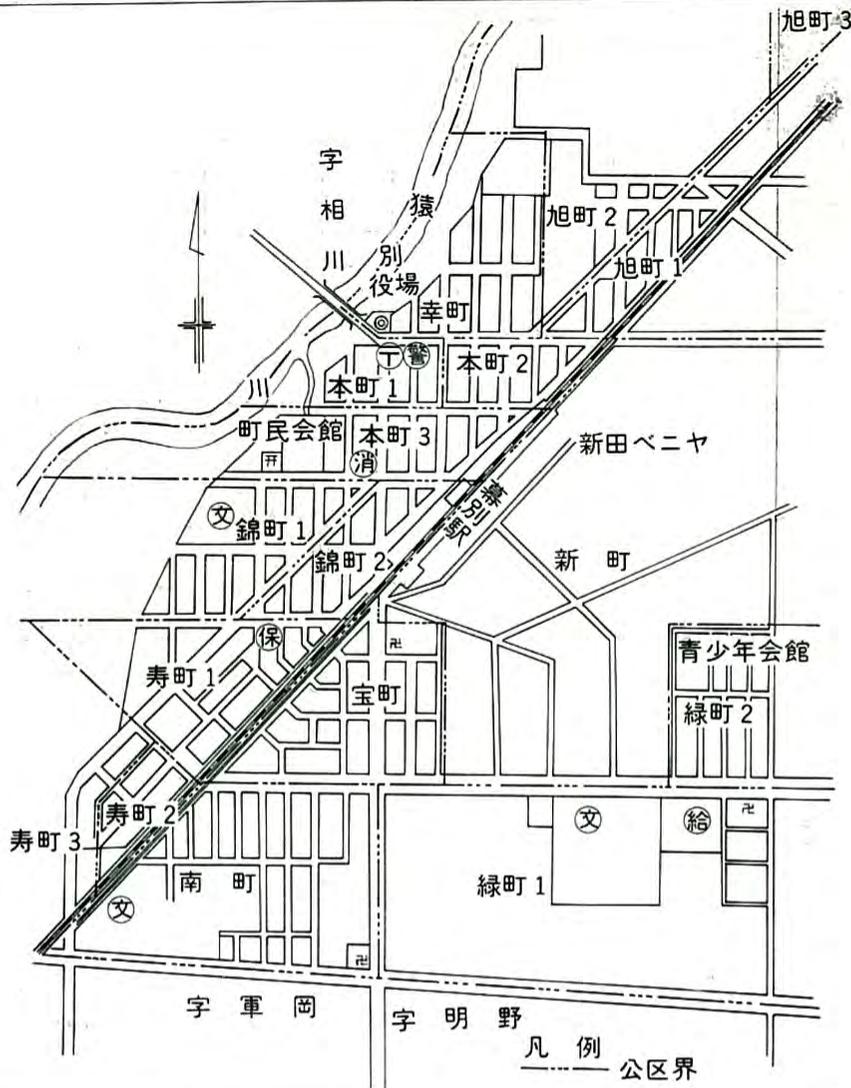
◎団体乗車券◎
幕別から二百名までの旅行をされる小グループが往復乗車しますと、十人分の運賃で十一人が乗車できます。通用期間は三カ月。

◎団体乗車券◎
今まで二十五人以上でなければ認められなかった団体割引が、十五人以上でも認められることになりました。どしどしと御利用ください。

(幕別駅提供)

幕別・札内市街 の公区区分け図

去る六月十一日に開催しました公区長会議の席上「新らしく幕別の住民となったが、各公区の境界がどこにあるのかわからず、なんとかしてほしい」という要望がありました。
この要望は、もっともなこと、例えば人口が増加し、つれて核分裂をおこした公区もあり、その際、不自然な型で境界線を引いたため、わかりにくくなったところもあります。
公区の再編成は、いまずぐ実施することは困難ですが、いずれは実施しなくてはならない、と考えております。市街地区の公区区分け図を掲載しました。ご利用ください。



広報まくべつ

発行

幕別町役場(幕別町幸町七〇番地)編集

企画課広報青少年係

印刷

大同出版紙業株式会社

↑ 幕別市街公区区分け図

→ 札内市街公区区分け図

